

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	山脇美術専門学校
設置者名	学校法人山脇服飾美術学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美術専門課程	ビジュアルデザイン科	夜・通信	3,012 時間	80×3=240 時間	
	スペースデザイン科	夜・通信	2,562 時間	80×3=240 時間	
	ジュエリーデザイン科	夜・通信	3,936 時間	80×3=240 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて一覧表を公開。 (掲載： <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/01jitsumukeiken.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/01jitsumukeiken.pdf</a> )
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山脇美術専門学校
設置者名	学校法人山脇服飾美術学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて理事名簿を公開している。  
(掲載：<https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/02riji.pdf>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学教授	2021. 4. 1～ 2025. 3. 31	教育内容・学科編成 に対する知見
非常勤	前大学教授	2021. 4. 1～ 2025. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山脇美術専門学校
設置者名	学校法人山脇服飾美術学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>ビジュアルデザイン科(3年制)、スペースデザイン科(3年制)、ジュエリーデザイン科(3年制)</p> <p><b>【作成について】</b></p> <p>各授業科目については講師会議等の学内会議により、授業科目の設定・講義内容について検討した後、各授業の担当講師へ授業計画の作成を依頼している。様式については授業科目名、担当講師、必修/選択、授業形態、時間数、授業内容、到達目標、授業計画、履修上の注意、評価方法、教科書/教材、授業時間以外の学修を項目とした全科目統一様式を使用し作成要領に従って学科長、教務課長、校長の承認のもと作成している。</p> <p><b>【時期について】</b></p> <p>翌年度の授業計画は12月から1月に担当教員が作成し、3月にシラバスとして製本、4月のオリエンテーション等で学生に説明を実施している。また、入学希望者にも配布を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公開している。</p> <p><a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/vd.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/vd.pdf</a></p> <p><a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/sd.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/sd.pdf</a></p> <p><a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/jd.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/jd.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各科目の授業計画（シラバス）内の評価方法欄にて、出席率、課題評価、授業態度、レポート等の評価方法について詳細に提示している。提示した方法により科目担当教員が中心となり適正な評価を実施している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>各授業の評価は100点満点を基準として60点以上を合格としている。成績評価はS（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）として本人及び保護者に成績を通知している。それぞれの成績評価を点数化し全科目の平均点を100点満点で数値化することで学科における学年内成績分布状況を把握している。これらの成績評価は独自奨学金や学業優秀者の表彰候補者の選出に活用している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページにて公開している。  <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/04-1seiseki.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/04-1seiseki.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

「卒業認定方針」

出席率 80%以上、課題提出 100%、全科目の成績 60 点以上、学費等納付金の完済と定めています。

3 月に進級・卒業認定会議を開き全学生の出席状況、成績を基に卒業を認定し、美術専門課程の専門士の称号を授与します。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページにて公開している。

<https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/04-3sotsugyo.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	山脇美術専門学校
設置者名	学校法人山脇服飾美術学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報に更新し、ホームページで公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-1Balance_sheet.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-1Balance_sheet.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	最新情報に更新し、ホームページで公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-2jigyokatsudo.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-2jigyokatsudo.pdf</a>
財産目録	最新情報に更新し、ホームページで公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-4Property_list.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-4Property_list.pdf</a>
事業報告書	最新情報に更新し、ホームページで公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-5jigyohoukoku.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-5jigyohoukoku.pdf</a>
監事による監査報告（書）	最新情報に更新し、ホームページで公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-6kansa.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/05-6kansa.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		美術専門課程	ビジュアルデザイン科（3年制）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,150 単位時間/単位	180 単位時間/単位	600 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	2,958 単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		81人	0人	4人	22人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 随時担任教員による面談や相談を行い、必要な場合はカウンセラー、学科長、校長、保護者とも面談を実施している。進路指導においては就職支援職員並びに担任教員も加わり支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	0人 (%)	19人 (68%)	9人 (32%)
（主な就職、業界等） デザイン事務所を中心として、グラフィックデザイナー、webデザイナー、エディトリアルデザイナー、DTPデザイナー等として就職。			
（就職指導内容） 1年次より、「就職講座」70時間を行い、基本的なビジネススキル（パソコンスキル、コミュニケーションスキル、働く意味や社会の仕組みを知る、ビジネスマナー）、就職活動の準備（自己分析・自己PR作成、グループディスカッション、企業研究・志望動機作成、模擬面接、履歴書添削、筆記試験対策）を行う。また、卒業生を招いての懇談会や企業説明会を開催している。また、学務課に専任職員が在籍しており、個人面談、履歴書指導、自己分析、模擬面接等の指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ウェブ解析士、コミュニケーション検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81 人	6 人	7%
(中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 毎週、連絡会を持ち学生の状況を報告確認している。クラス担任、学科長と学生、保護者の面接を行い、必要に応じてカウンセラーとの面談を行っている。		



## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		美術専門課程	スペースデザイン科 (3年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,150 単位時間/単位	306 単位 時間/単位	2970 単 位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
54人	24人	1人	4人	19人	23人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 随時担任教員による面談や相談を行い、必要な場合はカウンセラー、学科長、校長、保護者とも面談を実施している。進路指導においては就職支援職員並びに担任教員も加わり支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (%)	10人 (91%)	1人 (9%)
(主な就職、業界等) 建築設計事務所を中心に建築デザイナー、家具デザイナー、店舗デザイナー、CADオペレーター施工管理等として就職。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1年次より、「就職講座」70時間を行い、基本的なビジネススキル(パソコンスキル、コミュニケーションスキル、働く意味や社会の仕組みを知る、ビジネスマナー)、就職活動の準備(自己分析・自己PR作成、グループディスカッション、企業研究・志望動機作成、模擬面接、履歴書添削、筆記試験対策)を行う。また、卒業生を招いての懇談会や企業説明会を開催している。また、学務課に専任職員が在籍しており、個人面談、履歴書指導、自己分析、模擬面接等の指導を行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>色彩検定、商業施設士、商業施設士補、2級建築士受験資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	3人	13%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 毎週連絡会を持ち、学生の状況を報告確認している。クラス担任、学科長と学生、保護者の面談を行い、必要に応じカウンセラーとの面談を行っている。		

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		美術専門課程	ジュエリーデザイン 科（3年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,150 単位時間/単位	180 単位 時間/単位	600 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	3,378 単 位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	41人	0人	4人	18人	22人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 随時担任教員による面談や相談を行い、必要な場合はカウンセラー、学科長、校長、保護者とも面談を実施している。進路指導においては就職支援職員並びに担任教員も加わり支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (%)	12人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） ジュエリーブランド企業、ジュエリー制作工房を中心にクラフトマン、デザイナー等として就職。			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1年次より、「就職講座」70時間を行い、基本的なビジネススキル(パソコンスキル、コミュニケーションスキル、働く意味や社会の仕組みを知る、ビジネスマナー)、就職活動の準備(自己分析・自己PR作成、グループディスカッション、企業研究・志望動機作成、模擬面接、履歴書添削、筆記試験対策)を行う。また、卒業生を招いての懇談会や企業説明会を開催している。また、学務課に専任職員が在籍しており、個人面談、履歴書指導、自己分析、模擬面接等の指導を行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ガス溶接技能講習、ジュエリーコーディネーター検定、貴金属装身具技能検定</p>
<p>(備考)(任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	1人	2.4%
(中途退学の主な理由)		
体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
毎週連絡会を持ち、学生の状況を報告確認している。クラス担任、学科長と学生、保護者の面談を行い、必要に応じカウンセラーとの面談を行っている。		

## ②学校単位の情報

### a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
ビジュアルデザイン科	170,000円	620,000円	360,000円	
スペースデザイン科	170,000円	620,000円	360,000円	
ジュエリーデザイン科	170,000円	620,000円	360,000円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価については学校ホームページに公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/06gakkojikohyoka.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/06gakkojikohyoka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者として、関係企業・卒業生・地域代表など4名で構成する学校関係者評価委員会を組織して、教育目標・人材像などの教育理念、教育方法・授業形態・成績評価などの教育課程、その他学校運営に関わる事項について評価を行っている。評価内容は理事会、評議員会、カリキュラム検討委員会などで報告され次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
デザイン・印刷会社 課長	2022. 4. 1～2025. 3. 31	企業
企画・デザイン会社 プロデューサー	2022. 4. 1～2025. 3. 31	企業
会社員	2022. 4. 1～2025. 3. 31	卒業生
振興組合 理事	2022. 4. 1～2025. 3. 31	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価については学校ホームページに公開している。 <a href="https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/07gakkokankeishahyoka.pdf">https://yamawaki.ac.jp/pdf/openinfo/07gakkokankeishahyoka.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://yamawaki.ac.jp">https://yamawaki.ac.jp</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310100143
学校名 (〇〇大学 等)	山脇美術専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人山脇服飾美術学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		15人	17人	17人
内 訳	第Ⅰ区分	—	—	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
	第Ⅳ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				17人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間		前半期		後半期	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。